

県内景況、原材料等価格高騰で厳しい状況

新型コロナ感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻等不安要素を懸念

～景況 DI 値は、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス34.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 2月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比31.5ポイント上昇のマイナス31.6、前年同月比26.3ポイント低下のマイナス52.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比26.3ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント低下のプラス21.1。非製造業では、DI 値前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比10.4ポイント低下のプラス10.6。

収益状況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のマイナス31.6、前年同月比31.5ポイント低下のマイナス52.6。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス21.1。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のマイナス31.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス31.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス21.1。

景況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のマイナス52.6、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント上昇のマイナス34.2、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス34.2となった。製造業の一般食料品、木材・木製品、生コン、金属製品関連では原材料価格の値上がりが続いており、価格転嫁も困難な状況。非製造業では、オミクロン株感染拡大により消費マインドは冷え込み、商店街、旅館・観光関係では危機的な状況。運輸業では燃料価格高騰が深刻化している。県内景況は、原材料価格や原油価格高騰により厳しい状況であり、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、ロシアによるウクライナ侵攻等により更なる不安要素も懸念される。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

2月の全国倒産は、件数428件で、民事再生法による倒産は施行後最小の1件となった。負債総額は780億6,600万円（負債総額1,000万円以上）で、4カ月ぶりの前年同月比増加となった。不況型倒産の合計は339件で、9カ月ぶりに前年同月を上回った。構成比は79.2%を占める。

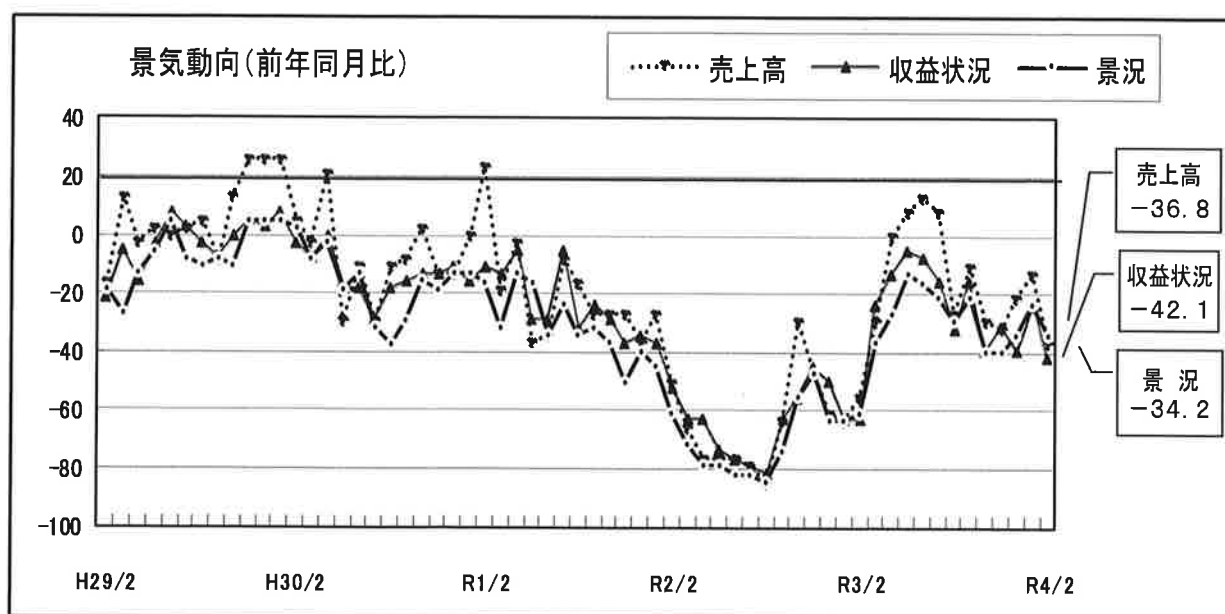
一方、2月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月0件）、負債総額は1億900万円（前月0円）、業種別については、製造業、小売業が各1件。主因別はすべて販売不振となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報1月分」）

鳥取県の1月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.43倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.20倍）で、前月より0.07ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.41倍、米子所1.55倍、倉吉所1.82倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.53倍（季節調整値）で、前月と同水準。

新規求人数は、前年同月比13.9%増加し、有効求人数は15.1%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、製造業（71.3%）、公務・その他（43.6%）、（建設業21.4%）、医療・福祉（12.1%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比6.0%増加し、有効求職者数は前年同月比0.2%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.52倍で、前年同月を0.11ポイント上回った。新規求人数は前年同月を10.4%上回った。



2月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	26.3%	5.3 15.8	26.3%	57.9%	-31.6 31.5	28.9%	42.1%	-13.2 23.6
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 -10.6	16.7%	25.0%	-8.3 -25.0	12.9%	12.9%	0.0 -16.1
(3) 販売価格	10.5%	0.0%	10.5 26.3	5.3%	15.8%	-10.5 -21.0	7.9%	7.9%	0.0 -13.2
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	7.9%	-7.9 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 5.2	15.8%	47.4%	-31.6 31.6	10.5%	34.2%	-23.7 18.4
(6) 資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	5.3%	36.8%	-31.5 10.6	2.6%	26.3%	-23.7 7.9
(7) 設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 5.3						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	5.3%	21.1%	-15.8 5.3	2.6%	13.2%	-10.6 5.2
(9) 景 況	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	52.6%	-52.6 10.6	0.0%	34.2%	-34.2 5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	36.8%	-21.0 -21.0	15.8%	68.4%	-52.6 -26.3	15.8%	52.6%	-36.8 -23.6
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 -5.3	8.3%	33.3%	-25.0 -16.7	9.7%	16.1%	-6.4 -9.6
(3) 販売価格	21.1%	0.0%	21.1 -5.2	21.1%	10.5%	10.6 -10.4	21.1%	5.3%	15.8 -7.9
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	13.2%	-13.2 0.0
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 -5.2	5.3%	57.9%	-52.6 -31.5	5.3%	47.4%	-42.1 -18.4
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	5.3%	36.8%	-31.5 -10.5	2.6%	28.9%	-26.3 -5.3
(7) 設備操業度	5.3%	15.8%	-10.5 -15.8						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 2.6
(9) 景 況	0.0%	31.6%	-31.6 -15.8	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	2.6%	36.8%	-34.2 -10.6

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I （上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原料（小麦粉、油脂類）や燃料（LP ガス、電気）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。加えてロシアによるウクライナ侵攻により更なる値上げが懸念される。販売価格に転嫁できず厳しい状況。

醤 油⇒ 大手メーカーが、原材料高騰等を理由に相次いで商品の値上げを発表している。本県事業者も商品を値上げしたいが、大手メーカーと価格差があり見極めが必要となる。味噌・醤油は仕込みから出荷まで4 カ月から1 年くらい掛かるため、製品価格への反映は他業種に比べ遅れる傾向にある。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、国内需要は増加傾向にあるが、原材料が高騰しており価格に転嫁できない状態。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 国内衣料品消費は回復の兆しが見えない。供給先である中国をはじめ海外からの輸入コストの極端な上昇、原材料の高騰など不透明感が増し、価格に転嫁できる市場ではないため苦戦している。国内生産についても、通販、カタログ、ネット販売、またユニフォーム関連に偏っており、受注先の動向により工場稼働率が大きく変化する状況が続いている。

【家具・装飾品】

⇒ 2 月はオミクロン株感染拡大と大雪の影響が大きく店舗への客数は減少した。仕入れにおいても、海外コンテナ不足と輸送コスト上昇が止まらない。政情不安から買い替えが起きる事も想定されるため、悪いサイクルが生まれてくる。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で不変、製材品の生産量はやや減少。合板の生産量もやや減少。積雪の影響もあり丸太の出材量は少ない。製材品の供給量は徐々に安定してきたが価格は依然として高い。プレカット加工の稼働率は、前月比で30%減少、前年同月比で40%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 世界情勢の影響（新型コロナや原油高）を受けて、仕入れ物資がこぞって値上がりしている。組合として売り先に対し値上げ要請を行った。

【印刷】

⇒ 年度末の需要は昨年同様の多忙さもあるが、新年度に向けての期待感が持てるほどではない。どんよりした停滞感に包まれている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 2 月の生コン出荷量は、前月比10%増加、前年同月比8%減少。全体的に受注残がなく低調。公共投資は秋以降新規物件の発注が少ない。

民間設備投資はマンションや工場関係工事はあるが、数量を押し上げるほどにはない。各メーカーのセメントの値上げが、1月以降2,000円～2,400円/トンの動きとなり、さらに軽油の値上がりでダンプの運賃値上げとミキサー車による大幅なコスト上昇で、生コン販売価格の検討が急務となっているが市況は改善していない。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、事業所により差はあるものの仕事量を確保しているが、地元物件が少なく、県外物件の受注が多い。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注は増加傾向にあるが、半導体不足に加え、アジアの新型コロナ感染拡大により、部品供給の確保が難しく納期に影響が出ている。今後、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が危惧される。

鉄骨加工⇒ 前年から続く鋼材の価格高騰は一服感が出てきたが、高止まりの状況は続いており収益状況は厳しい。県内での需要が多い柱材に使われる小型コラムは、市中在庫が枯渇していた状況は改善され、市中に在庫が出てきたため手配に苦しんでいた状況もなくなりつつある。

金属熱処理⇒ 2月の受注状況は先月比で10%増加、前年同月比では16%減少となった。受注低迷の原因であった自動車関係の受注が回復傾向にあり、エネルギー関係部品の関係も若干回復傾向にある。油圧機械部品は暫く活発であり全体的に上向きではあるが、コロナ感染の影響もあるためか企業間の格差が顕著となっている。航空機の関係の受注はピークの10分の1以下にまで減少し今後の見通しも暗い。

【電気機械器具】

⇒ 部品調達の問題が深刻化している。人員不足も改善されていない。水際対策が緩和され外国人技能実習生受入に希望が見えるが先行きは不透明。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。2月寒波により野菜全体の物流が落ち込んだ。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。依然として厳しい状況。

中部地区⇒ コロナ禍の影響により低調。事務機器業界としては、年度末の需要が大きく影響してくるので、これからが大事な時期といえる。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。一部でウッドショックの影響が見受けられる。また半導体不足による電化製品、PC等の物流の懸念がある。

水産物⇒ 巻き網漁は極端に時化が多く、例年みられるサバの水揚げも低調に終わり総水揚量は昨年を大きく下回った。近海物も時化の影響と松葉ガニ、若松葉ガニの漁獲が低調であり精彩を欠く競り場となった。紅ズワイガニの水揚量は大きく落ち込み、コロナ禍明けの需要の目論見、年末で製

品在庫が一定量消化されたこともあり浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 2月の国内スクラップ相場は、輸出価格が続伸し、冬場の発生薄等の要因で需給が引き締まったため、中旬にトン当たり3千円の値上がりとなり月末を迎えた。古紙市況は不変。非鉄金属は、ロシアによるウクライナ侵攻により先物高となった。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、オミクロン株の感染者数増大による新型コロナウイルス特別警報の発令等の影響もあり、歩行者通行量、店舗への来客数が減少し、店舗売上も業種問わず大きく減少した。3月は例年であれば繁忙期となるが、この状況が続けば客数・売上の減少が懸念される。また度重なる大雪に見舞われ、非常に厳しい月となり、物販関連も飲食関連もすべてが苦しい状況。全体的に消費マインドが冷え込んでいる。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、コロナ禍により経済活動も動かず、購買行動の推移も低調。商店街で春のイベントを企画し購買活動の活性化を図りたいと思っているが難しい。「頑張ろう！商店街」を利用して春のイベントを実施すべく討議を重ねている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、県西部地区でオミクロン株のクラスターに伴う感染拡大により、来街者が極端に減少した。春以降に計画されているイベントの開催が懸念される。

境港市の水産物小売は、境港水産物直売センターが施設更新のため1月11日から2月1日まで全店舗休業し、開店準備の整った店舗から五月雨式ではあるが営業を再開している。4月24日に正式なりリニューアルオープンの施設披露及びイベントを開催し、今後8月共用開始予定県営境港水産物地方卸売市場や水木しげるロードとの連携をしながら、一層観光客誘致に力を入れていきたい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、前月に比べると徐々に持ち直してきているが、コロナ禍により観光客は減少しており、厳しい状況が続いている。

米子市のホテル・旅館では、オミクロン株感染拡大により、日帰客、宿泊客ともに大幅に減少し、前月比、前年同月比ともに売上高は減少、収益状況も悪化した。業界全体では、1月以降のコロナ感染拡大の影響が予想以上に大きく、旅館全体の営業率は40～45%となっており、経営も限界にきている。

三朝温泉では、売上高は、前月比で減少、前年同月比で増加。各種キャンペーンが中止となり状況は厳しい。

羽合温泉では、2月は#WeLove 山陰（鳥取県民のみ）以外に割引キャンペーンがなく、新型コロナ新規感染者が高止まりの状況が続いたため、宿泊客の動きはかなり鈍い。旅館によっては、平日はほぼ休館し、週末のみ営業するところもあり、宿泊客数は前月よりさらに落ち込んでいる。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて1,858台で前月比

9%増、前年同月比は17%減という状況。継続検査台数（軽自動車を含む）は15,292台で前月比が21%増、前年同月比は1%増。中古車（軽自動車を含む）は563台で前月比が22%増、前年同月比は12%減となった。新車、中古車、継続検査ともに年度末に向けて増加の傾向となっているが、前年実績には及ばない状況。

【建設業】

⇒ 1月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額22億円（前年同月比31%減）、件数74件（前年同月比10%増）で、年度累計（令和3年4月～令和4年1月）は、請負金額837億円（前年同月比3%減）、件数1,511件（同4%減）となった。単月で前年比マイナス、年度累計のマイナス幅もやや拡大。設備投資は、単月で大幅に上振れ、3カ月平均も前年比プラス、住宅建設は単月、3カ月平均ともに前年比プラスが続く。木材・鉄鋼などの資材価格上昇や給湯器などの住宅設備機器の納品遅れ・欠品の継続に加え、人手不足に伴うコスト上昇により収益が圧迫されている。

1月の鳥取県新設住宅着工戸数は144戸（持家119戸、貸家25戸）で、前月比17%減、前年同月比3%増となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 1月の荷動きは、製造業等の出荷量は概ね横ばいで低調な状況が続いている。復路荷物の荷動きも低調に推移しており、空車で帰る非効率な運行が続いている。ロシアによるウクライナ侵攻による影響から原油、資材の高騰もみられ、今後、運送業界にも相当な影響が出ることが懸念される。燃料価格は大幅に値上がりし、収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 西部地区は積雪も少なく農産物も順調に出荷され、2月は往路復路ともに例年通り推移した。燃料価格はロシアによるウクライナ侵攻により急激に上がり始め、ロシア産原油に替わる代替原油でも価格のさらなる上昇は避けられず、第三のオイルショックが到来したと言わざるを得ない。引越需要もコロナ禍では期待できず、従来の年度末需要がどうなるのか注視していきたい。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・介護服等の備蓄用発注を国内生産者に割当てよう政策、予算配分をお願いしたい。【ニット製品製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・雇用調整助成金の期間延長を望む。【電子部品製造業】
- ・躊躇なく経済対策を積極的に打ち出してほしい。【商店街】
- ・経営維持のための抜本的な施策を検討してほしい。【旅館業】
- ・GoTo トラベルの再開を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売 上 高	製 造 業	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	0.1
	非製造業	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	-36.9
	全 業 種	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	-18.5
在庫数量	製 造 業	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	5.2
	非製造業	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	-16.6
	全 業 種	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	-3.2
販売価格	製 造 業	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	10.5
	非製造業	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	5.3
	全 業 種	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	7.9
取引条件	製 造 業	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3
	非製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0
	全 業 種	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	2.6
収益状況	製 造 業	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-5.2
	非製造業	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	-21.1
	全 業 種	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	-13.2
資金繰り	製 造 業	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5
	非製造業	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	0.0
	全 業 種	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-5.2
設備操業度	製 造 業	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	47.4
雇用人員	製 造 業	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	-10.6
	非製造業	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	0.0
	全 業 種	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	-5.3
景 況	製 造 業	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	15.8
	非製造業	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-21.0
	全 業 種	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-2.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	製造業	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	31.6
	非製造業	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	5.3
	全業種	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	18.4
在庫数量	製造業	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	26.3
	非製造業	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	8.4
	全業種	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	19.4
販売価格	製造業	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	36.9
	非製造業	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.1
	全業種	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	29.0
取引条件	製造業	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-10.5
	非製造業	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	10.6
	全業種	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	0.0
収益状況	製造業	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	21.1
	非製造業	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	21.1
	全業種	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	21.1
資金繰り	製造業	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	15.7
	非製造業	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	26.4
	全業種	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	21.1
設備操業度	製造業	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	42.1
雇用人員	製造業	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	10.5
	全業種	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	5.3
景 況	製造業	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	21.0
	非製造業	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	31.6
	全業種	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	26.4

情報連絡員報告総括表(令和4年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上				在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少		増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製 造 業	食料品	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0		
	繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	
	木材・木製品	1	1	2	0	4	0	1	3	0	0	0	4	0	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	3	1	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	
造 業	化学ゴム																													
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
	鉄鋼・金属	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
非 製 造 業	輸送用機器																													
	その他																													
	卸売業	19	6	8	5	2	16	1	2	17	0	0	19	1	1	14	4	0	16	3	3	14	2	0	18	1	0	16	3	
	小売業	100%	31.6%	42.1%	26.3%	10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	100.0%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	73.7%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	84.2%	15.8%
	商店街		2	1	3	0	4	2	1	5	0	0	6	0	1	4	1	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	4	2	
造 業	サービス業		1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	建設業		0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	運輸業		1	0	1				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0
	その他																													
	19	5	3	11	2	6	3	1	15	3	0	17	2	3	7	9	1	11	7					1	14	4	0	9	10	
100%	26.3%	15.8%	57.9%	16.7%	50.0%	25.0%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	36.8%	47.4%	5.3%	57.9%	36.8%					5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	47.4%	52.6%		
	38	11	11	16	4	22	4	3	32	3	0	36	3	4	21	13	1	27	10	3	14	2	1	32	5	0	25	13		
100%	28.9%	28.9%	42.1%	12.9%	71.0%	12.9%	7.9%	84.2%	7.9%	0.0%	94.7%	7.9%	10.5%	55.3%	34.2%	2.6%	71.1%	26.3%	15.8%	73.7%	10.5%	2.6%	84.2%	13.2%	0.0%	65.8%	34.2%			

情報連絡員報告総括表(令和4年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1	
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	2	0	2	1	
	木材・木製品	2	1	1	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	3	1	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
	化学ゴム																												
製造業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
	鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	1	2	3	0	4	2	2	4	0	0	6	0	1	4	1	1	5	0				0	6	0	1	5	0	
	小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	商店街	0	0	4	1	2	1	0	2	2	0	2	2	0	0	4	0	0	4				0	2	2	0	0	4	
	サービス業	2	1	2				1	4	0	0	5	0	0	3	2	0	4	1				0	3	2	0	3	2	
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1	
	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	1	1	
その他																													
	19	3	3	13	1	6	4	4	13	2	0	17	2	1	7	11	1	11	7				0	15	4	1	10	8	
	100%	15.8%	15.8%	68.4%	8.3%	50.0%	33.3%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	36.8%	57.9%	5.3%	57.9%	36.8%				0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	52.6%	42.1%	
その他	38	6	12	20	3	22	5	8	28	2	0	33	5	2	18	18	1	26	11	1	15	3	0	32	6	1	23	14	
	100%	15.8%	31.6%	52.6%	9.7%	71.0%	16.1%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	86.8%	13.2%	5.3%	47.4%	47.4%	2.6%	68.4%	28.9%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	2.6%	60.5%	36.8%	